

ダムの防災操作（洪水調節）による効果のお知らせ

令和2年9月9日
土木建築部河川課

令和2年9月6日～7日の台風10号による降雨で大分県が管理する下記の1ダムにおいて、洪水の一部をダムに貯留すること（洪水調節）で、下流河川の水位上昇を抑制したことについてお知らせします。

1. 防災操作（洪水調節）実施ダム

ダム名	所在地	河川名	防災操作日時	
			開始	終了
① 北川ダム	佐伯市宇目大字南田原	一級河川 五ヶ瀬川水系北川	9月6日 15:52	9月7日 4:35

※防災操作（洪水調節）：ダムに流れ込む水を一時的に貯留し、下流河川の水量を抑えることで、水位上昇を抑制すること。

2. 防災操作（洪水調節）の概要と効果

①北川ダム

- 最大流入量 700.0m³/s のうち 174.0m³/s をダムに貯め、下流へは 526.0m³/s を放流しました。
- 上記操作により、下流河川（熊田橋地点）において、河川水位を約 0.6m 低減させました。

【問い合わせ先】

河川課 ダム・海岸班

山田・山村・藤崎

【電話】097-506-4595（直通）



安心・活力・発展

大分県土木建築部

令和2年9月6日～7日の台風10号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

令和2年9月7日

【速報推計】

台風10号の接近に伴い、6日6時から雨が降り始め6日15時までに累計84mmの降雨があり、15時52分には洪水量200m³/sに達したため、洪水調節を開始しました。

その後も流入量は増加し、7日3時には最大流入量の700.0m³/sに達しました。その時点でのダムからの放流量は526.0m³/sで、ダムに流れ込んだ水量の約25%にあたる、174.0m³/sをダムに貯めました。

その後、降雨及び流入量は次第に減少し、流入量が放流量を下回ったため、7日4時35分に洪水調節を終了し、7日10時15分には流入量が洪水量200m³/s以下に低下しました。

総雨量は、237mm(6日6時～7日5時)で、時間最大雨量は、21mm(6日12時)でした。

今回の洪水調節により、下流河川(熊田橋地点)において、河川水位を約0.6m低減させたと推測しています。



問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4595(直通)

大分県 芹川・北川ダム管理事務所 北川ダム管理支所

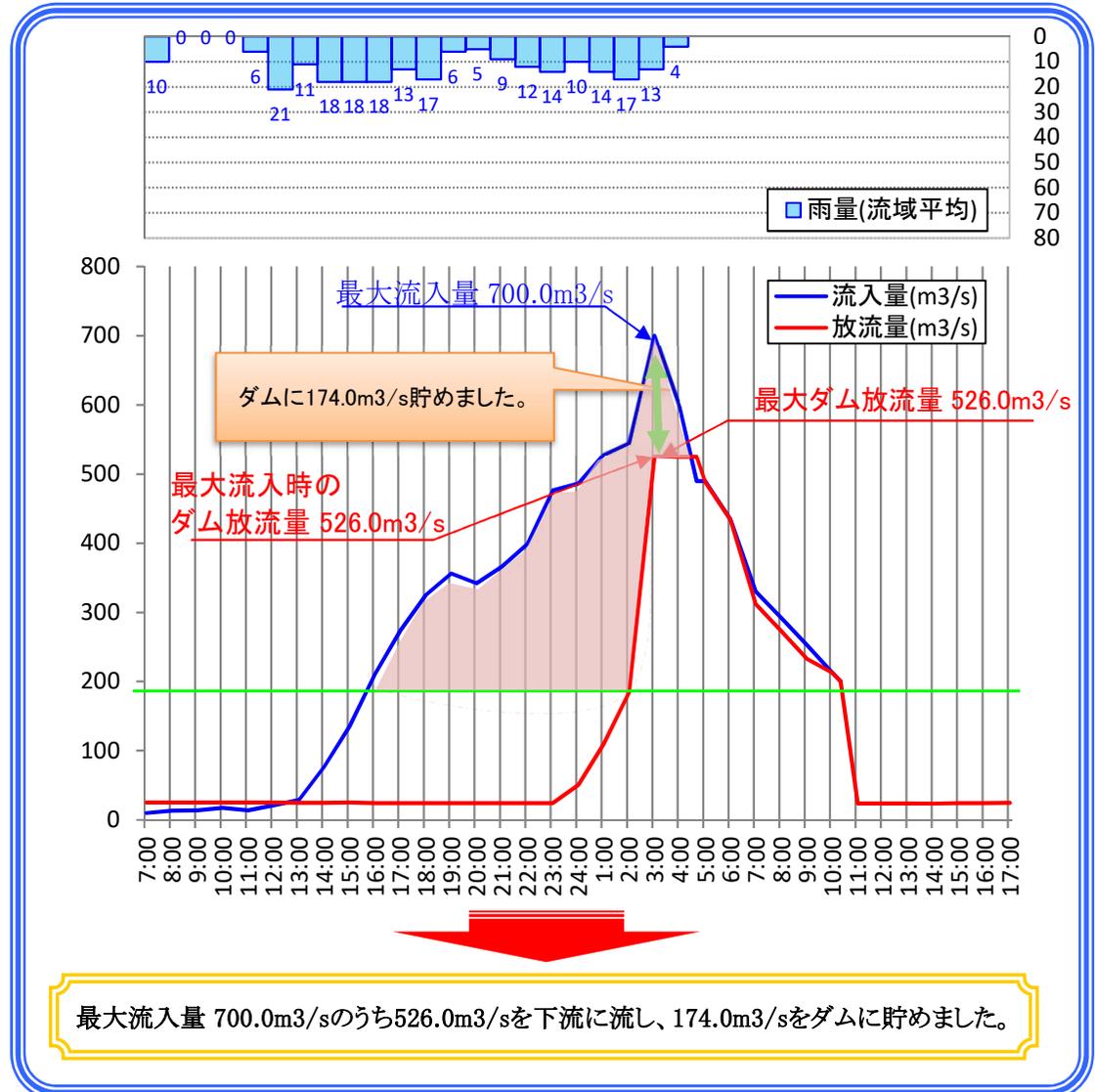
電話 (097)597-6890

令和2年9月6日～7日の台風10号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

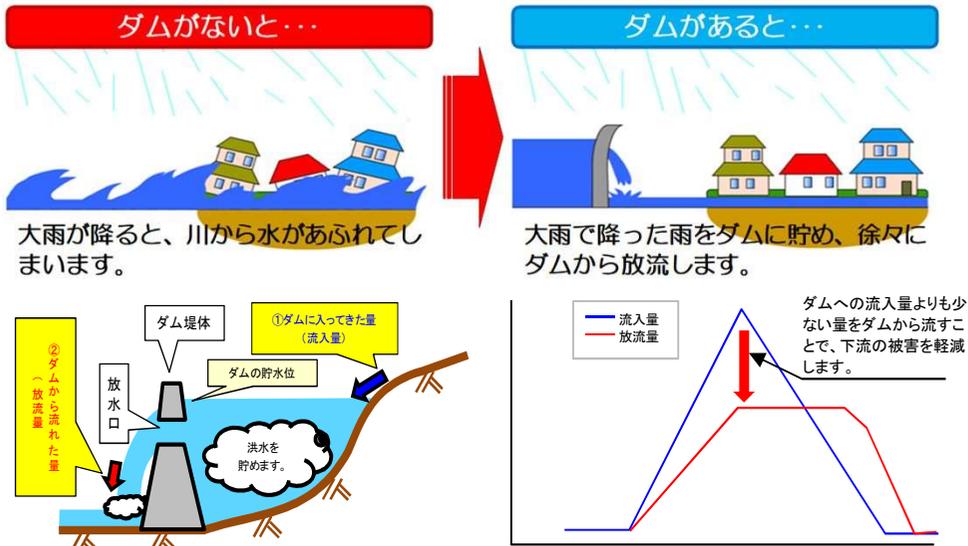
【北川ダム位置図】



【防災操作実績図(速報値)】

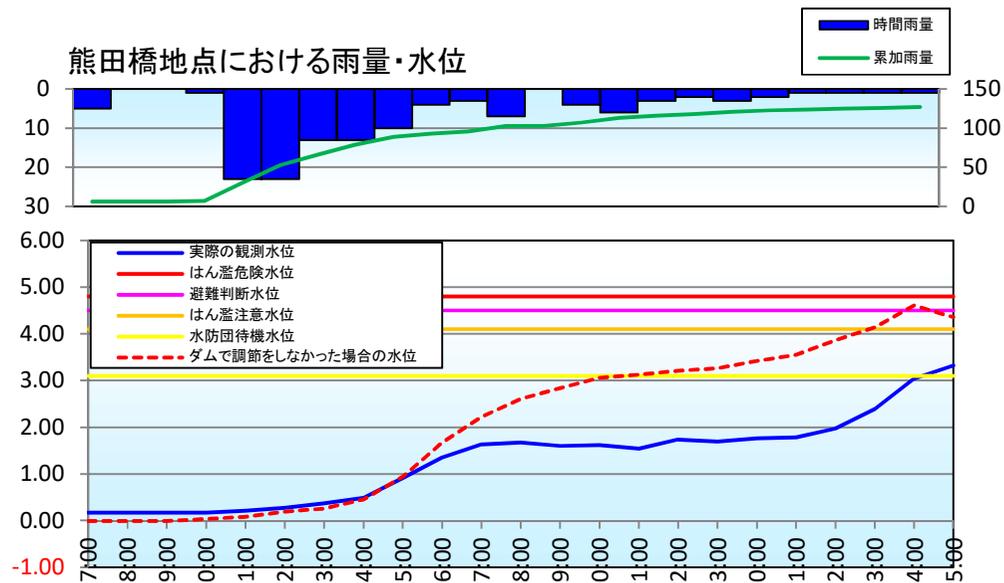
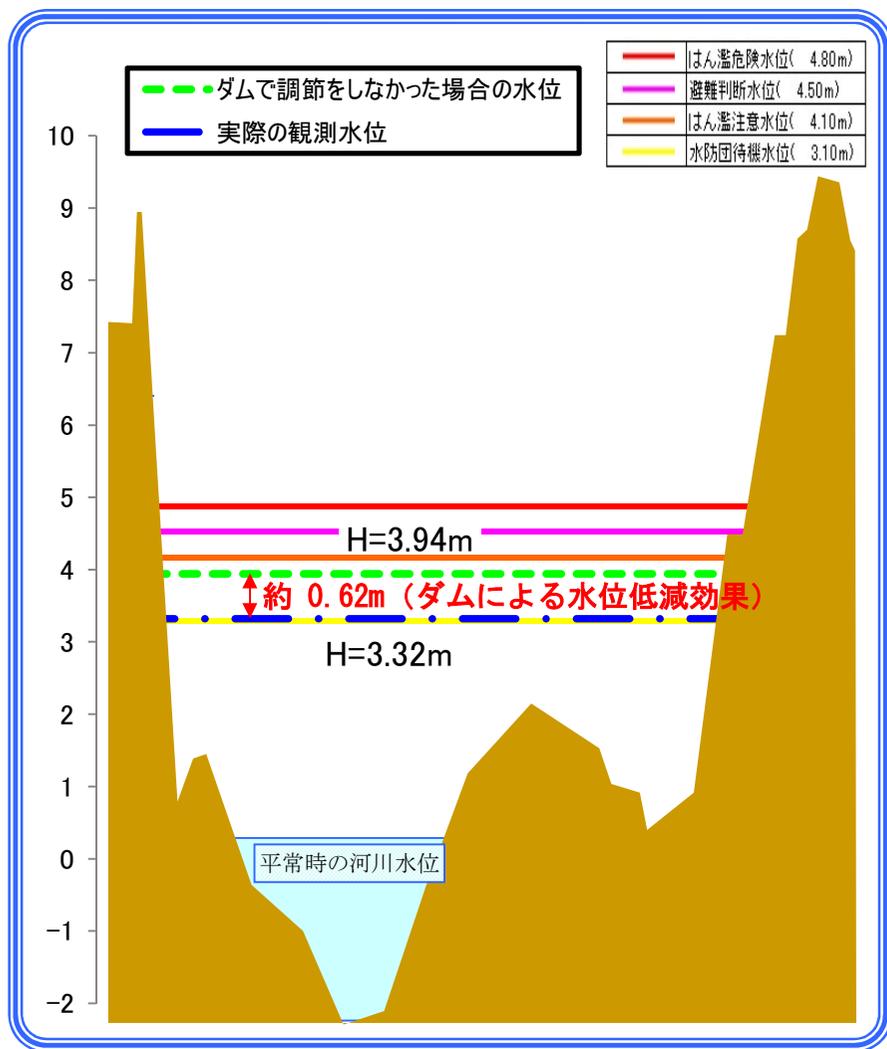


【ダムの治水効果】



令和2年9月6日～7日の台風10号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

【 延岡市北川町 熊田橋地点(北川、小川合流点)の河川水位比較 】



(ダムで調節をしなかった場合の水位はおおよその推定です。)

